

科目名	クリエイティブ・ライティング特講	担当者	サトウ 佐藤 サブロウ 三武朗	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>科目の特質から判断して、受講者はそれぞれが持てる感性と創造性を十分に発揮し、課題に果敢に取り組んで欲しいと考える。レポートの執筆においては、臆することなく大胆に、かつ挑戦的に個性を発揮して欲しいと思う。文章は個性が表れるから、事実の正確な把握を踏まえ、問題の所在を明らかにするよう、説得力のある記述を心掛けて欲しい。表現においては、読者を意識して、論理性のある文章力を身につけるように心掛けて欲しいと考える。</p>		
到達目標	<p>受講者の中には将来の希望として、執筆活動や文筆業を目指している方がいると思う。どの作家や著述家も初めにおいて、習作時代がある。説得力のある明晰な文章を書けるように心掛けたい。新聞の社説や随筆は、内容と密度において、学ぶことが大きいので手本とすると良い。受講者自身の特色を発揮できるように、文章表現や発想力の基本を身につけることが望ましい。難解な表現よりも、平易な表現力を身につけた上で、創造性豊かな文章を書けるようにしたい。</p>		
学修方法	<p>画家が写生するように、受講者は普段から目に映る物事や出来事をメモに取ったり、記述することを薦める。一気に高尚で高邁な文章を書くことは困難であるからだ。そのためには、テーマを見つけ、その本質に迫ろうとする訓練を積むことが欠かせない。また記述の方法において、起承転結を旨として、説得力のある文章構成を身につけるようにして欲しいと考える。傑作と言われる短編や随筆などから、学修方法として、着想や発想などを学ぶと良い。</p>		
スケジュール	<p>前期： 7月中旬頃までに、レポート課題の（1）を提出すること。 9月中旬頃までに、レポート課題の（2）を提出すること。</p> <p>後期： 11月中旬頃までに、レポート課題（1）を提出すること。 翌年1月の課題提出締切日までに、レポート課題（2）を提出すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材を十分に理解し、課題で求める内容に十分に答えているか。着想、論旨の展開、結論の導き方などが従前であるか否かを精査する。
	平常評価	20%	レポート提出の期限を守っているか。科目の求める水準、着想、獨創性、記述力、論理性などが水準に到達しているかを念頭に採点する。
履修者への要望	<p>受講者は、それぞれに関心が異なると思われる。本科目は、古典から現代まで、ドラマ、詩歌、小説を扱う。ギリシャ古典を扱う理由は、神話の知識が得られるからだ。古典は、現代文学や文化を理解するのに必要なヒントを多く秘めている。中世やルネッサンス期の文学においても同様である。現代文学を紐解く際に、古典の知識は必要である。時代と地域を超えた普遍的な価値観や世界観を踏まえて、名作に触れることで、科目履修者はそれぞれの個性を伸すことが出来ると考える。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ソフォクレス 教材名： 『オイディプス王』（岩波書店，1967年）ISBN:978-4-00-321052-9 480円+税 著者名： シェイクスピア 教材名： 『ハムレット』（岩波書店，2002年）ISBN:978-4-00-322049-8 940円+税
参考図書	特になし
履修上のポイント	『オイディプス王』は神話に基づいた物語です。まず物語の概要を捉えて下さい。神話劇の構造を分析して下さい。次にオイディプス王の苦悩を読み取って下さい。知らずして起こした「父殺し」、「母との姦通」という事態を通して、現代的なテーマに結びつけて考察して下さい。 『ハムレット』は王家の悲劇です。物語の概要を捉えて下さい。ハムレットの苦悩の内実は、現代人の苦悩でもあるから、劇の全体を把握した上で、父の死、母の再婚、オフェリアとの愛、フォーテンブラスといった登場人物との有機的関係を読み解いて下さい。
レポート課題 1	オイディプスの悲劇を記述して下さい。 留意点： 「逆説」の視点で読み解くと、『オイディプス王』読解のヒントが得られます。正しいと思っ て行なったオイディプス王の行為はことごとく裏目となる。自らを滅ぼすオイディプスの苦悩の 実態を分析して下さい。
レポート課題 2	ハムレットの悲劇を記述して下さい。 留意点： 『ハムレット』は謎めいた作品で、色々な解釈が可能です。なぜ復讐を遅延するのか。ク ローディアスの正体は何なのか。独白をするハムレットの心境は何なのか。推理小説を読み解くつ もりで取り組んで下さい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 島崎藤村 教材名： 『破戒』（岩波書店，2002年）ISBN:978-4-00-310232-9 860円+税 著者名： 川端康成 教材名： 『伊豆の踊子』（岩波書店，2003年）ISBN:978-4-00-310811-6 600円+税
参考図書	特になし
履修上のポイント	『破戒』は私小説か社会小説かで、未だに学界では問われ続けています。ここでは差別という社会の不条理に立ち向かう主人公丑松に視点を当てて、苦悩の内実を読み解いて下さい。まず物語の概要を捉えて下さい。なぜ主人公は、身分を隠すのか。父の戒めである「隠せ」という命令に縛られる丑松の苦悩に秘められた「逆説」を分析して下さい。 『伊豆の踊子』は、早くして両親を、さらには祖父母を失った青年の孤独とその告白、さらには自立に向かう青年の精神遍歴である。抒情文学として『伊豆の踊子』をまず読み解いて下さい。踊子へ寄せる心情、死と対峙して自己を解放するまでの苦悩を分析して下さい。自然の描写の巧みさ、心理描写の緻密さを捉えて下さい。
レポート課題 1	告白を躊躇する丑松の心情を記述して下さい。 留意点： 『破戒』は「告白」に込めた藤村の手法が成功した小説です。告白と自白の位相について 考察する時、丑松の苦悩の読解のヒントが得られます。西洋文学の影響を受けた『破戒』は、自我 覚醒というテーマに取り組んだ最初の長編小説です。
レポート課題 2	主人公にとって踊子の存在は何なのか記述して下さい。 留意点： 『伊豆の踊子』はロマンチックな小説です。しかしロマンの色調を秘めながら、生と死の テーマが色濃く宿る近代小説です。主人公にとって天城隧道は何なのか。踊子との出会いが主人公 にどんな意味を持つのか。単純な構造の文学に見えながら、生きることの深層を捉えた小説である ことを読み解いて欲しい。